

コンピュータ囲碁の基礎に迫る

5/31日
 13:30 開場
 14:30 対局開始

会場：
 公立はこだて未来大学 体育館
 入場無料 予約不要

主催：人工知能学会
 お問い合わせ：
 080-3590-1815
 jsai2015@ai-gakkai.or.jp

コンピュータ将棋はすでにプロ棋士と並ぶ実力がありますが、囲碁は将棋に比べてコンピュータにとってははるかにむずかしいため、まだアマの五、六段程度の実力しかありません。人工知能研究にとって囲碁は非常にいい題材になっています。人工知能学会全国大会の会場で人間対コンピュータの対戦を行います。今年には会場の函館にゆかりのあるプロ棋士の下坂美織二段に、コンピュータ囲碁世界一のZENがハンディをもらって挑戦します。解説はプロ棋士の小林覚九段にお願いしています。ぜひお越しください。



解説
 小林覚

55歳、1987年9段に昇段。長野県松本市出身。日本棋院東京本院所属。1976年に第10回棋道賞新人賞受賞。2006年には史上最高の勝率.682で通算900勝を達成、2011年には通算1000勝を達成する。



棋士
 下坂美織

27歳、2011年2段に昇段。北海道帯広市出身。日本棋院東京本院所属。高校時代、2004年に全国高校選手権女子個人において2年連続優勝。同年、第46回女流アマ囲碁選手権で優勝。2006年には全日本学生十傑戦6位入賞を果たす。2012年には第3回兵聖杯世界女子囲碁選手権で日本代表に選出される。



ZEN 開発者
 加藤英樹

チームDeepZen 代表。(チーフプログラマ尾島陽司) 尾島陽司が2005年頃から開発を始めたプログラム。2009年にネットワーク並列部を加藤が担当し、チームDeepZenを結成。2011年は28大会に参加して25回優勝、2012年は20大会で16回優勝など、世界最強を誇る。PC4台(計30コア)のクラスタを使用。商品版は「天頂の囲碁」シリーズ/マイナビ。